

# 子どもも喜ぶデザイン

## 手作りマスクなど寄贈

びんくのパンだ、こころんに 室蘭

ハンドメイドショップびんくのパンだ（室蘭市中央町、菅原佳奈枝店長）は18日、室蘭市東町の市子育て世代包括支援センター・こころん（中澤昌弘センター長）に手作りマスクやベビ

ー스타イを寄贈した。同店は、子どもたちのために何かできないかと考え、3月上旬にマスクの寄贈を思い立った。マスク作りを使用した生地は7割が客からの寄贈といい、休日

も返上し従業員3人で5日間かけて380枚のマスクを作った。一日も早く子どもに届けたいと考え、こころんへ贈ることにした。

マスクは幼児用と大人用各50枚、職員用20枚とベビースタイ25枚。幼児用マスクにはハートや車の柄などが付いており、子どもが喜ぶデザインになっている。菅原店長がこころんを訪問し、マスクを寄贈。中澤センター長からは感謝状が手渡された。菅原店長は「かわいらし

いマスクを着けて、外で遊んでほしい。マスク不足に備えて予備にもなれば」と笑顔。中澤センター長は「施設にびつたりのかわいらしいマスク。来ていただいた方に使ってもらいたい」と感謝した。

同店では、こころん以外にも室蘭言泉学園にベビースタイ140枚と職員用マスク20枚、ひだまりの森には白綿マスク40枚、ガーゼハンカチ20枚、さらし手ぬぐい15枚を届ける。（西野紗彩）